

第49回 池田市こども会親睦かるた競技大会要項 (小学生の部)

目 的	市内こども会会員を対象に文化活動を活発化するために、かるた競技(小倉百人一首)大会を開催し、子どもたちの文化の向上と会員相互の親睦をはかる。
主 催	池田市こども会育成連絡協議会・池田市教育委員会 大阪府かるた協会
実 施 日	令和8年1月18日(日) 9時15分より受付
選 手 集 合	午前9時50分大会本部前整列(10時より開会式)
会 場	五月山体育館 アリーナ
参 加 数	小学生の部 各单位こども会5チーム以内(原則として)
チーム編成	<u>小学生の部 1チーム3名以内とする。</u> 但し、補欠1名は認める。男女別の規定は特になし。
試合方法	本大会は、小学生の部、中学生の部、一般(高校生以上)の部で実施するものとし、「小学生の部」は、以下の通りとする。 団体戦とする。午前中に予選試合を実施し、午後の決勝トーナメントに進出するチームを決める。 (予選試合) 予選1回戦 …………… 全参加チームで対戦する。 2回戦 …………… 1回戦の勝者同士、敗者同士が対戦する。 3回戦 …………… 2回戦の勝者グループの敗者と、敗者グループの勝者が対戦する。 予選試合で2勝及び2勝1敗のチームのみ、午後からの決勝トーナメントへ進出する。予選試合は100枚の札を並べ、その内33枚を読み上げ勝敗を決める。 (決勝トーナメント) 1・2回戦は、100枚の札を並べその内51枚を読み上げ勝敗を決める。3回戦以降は、75枚の札を読み上げる。 但し、決勝戦および3位決定戦は100枚の札を読み上げる。
申し込み	☆ <u>令和7年12月8日(月)～12月12日(金)まで(FAXは不可)</u> 事務局(地域教育課)へ大会参加申込書にてお申し込みください。
組合せ抽選	<u>申し込み時に行う。</u> (組合せ結果は、大会当日に受付で配布)
表彰	1位～3位とする。
引 率	原則として、1チーム1名以上とする。 <u>(審判登録者以外)</u>
審判の依頼	※各单位こども会、小学生の部出場チームが <u>2チームまでは1名、3チーム以上は2名の審判員を登録</u> してください。(コートの役割分担を当

日審判員の方に配布いたします。)

※予選敗退チームの審判に決勝トーナメントの審判をお願いすることがあります。なお、当日ご協力いただけないこども会は、出場を取り消す場合もあります。

***** 以下、(中学生・一般の部)とも共通項目 *****

問い合わせ

池田市教育委員会 地域教育課 池田市城南 1-1-1

市こ連事務局 TEL 7 5 4 - 6 6 1 2 FAX 7 5 4 - 1 0 1 1

持 物

弁当、上靴（育成者および応援にこられる方も必ず持参してください）、下靴を入れる袋等。また、会場が広いため非常に寒い場合がありますので、膝掛け・毛布等をご用意ください。

注 意

- 1) 弁当・お茶は、各自で持参してください。
- 2) ゴミは必ず各自でお持ち帰りください。
- 3) おやつ類は禁止します。
- 4) 当日、試合中および昼食時間には、施設内および外で遊ばないようにしてください。
- 5) 試合用札は、市こ連で用意します。
- 6) 試合会場（アリーナ）では、絶対に練習をしないでください。
- 7) 館内（1階）は、土足禁止の為、必ず上履き（上靴・スリッパ）、下靴を入れる袋等をご持参ください。
- 8) 幼児の試合会場への入場は、試合進行の妨げになりますので、お断りします。
- 9) 荷物等での観客席の確保は、絶対にしないでください。
※育成者は、子どもたちの手本になる行動をお願いします。
- 10) お茶・ジュース類を試合会場で飲むことを禁止します。
- 11) 当日は、大変混雑しますので、自動車でのご来場及び会場への電話問い合わせはご遠慮ください。駐車場は有料です。
- 12) 2階の観覧席は、昼食時のみ開放します。試合中は閉鎖します。
育成者及び応援にこられる方は、1階試合会場の西側の移動観覧席で応援ください。（上靴必要）
- 13) 参加こども会の待機場所は、1階試合会場内の単位こども会名の張り紙の場所とします。（プログラムに掲載）
- 14) 会場（アリーナ）入口での手指の消毒及び試合中、会場内で
のマスクの着用をお願いします。

第49回 池田市こども会親睦かるた競技大会要項 (中学生・一般)

目 的	市内の中学生および高校生以上の一般を対象に、文化の振興を推進するために、かるた競技（小倉百人一首）大会を開催し、文化の向上とともに相互の親睦を図る。
主 催	池田市こども会育成連絡協議会・池田市教育委員会、 大阪府かるた協会
実 施 日	令和8年1月18日（日）
集 合	午後12時15分・五月山体育館1階アリーナ本部席前
会 場	五月山体育館アリーナ（2階観覧席は、使用しません）
対 象	市内在住の中学生・一般（高校生以上）の審判登録者以外 ※ただし、大阪府こども会育成連合会安全共済会加入し、池田市こども会育成連絡協議会に加盟しているこども会の会員であること。 （但し、中学生の部において、中学校名で出場し、学校長の協力により学校保険が適用される場合を除く）
チーム編成	1チーム3名とする。但し、補欠1名は認める。 男女別は、男子だけでも、女子だけでも、混合でもよい。
試 合 方 法	・中学生の部、一般の部で実施する。 ・団体戦とし、トーナメント方式で実施する。 ・札の読み上げ枚数は、小学生の部の決勝トーナメントと同時進行するため、それに準じる。 ・決勝戦および3位決定戦は、100枚の札を読み上げる。 ・当日は、池田市こども会親睦かるた大会決勝トーナメントと同時進行しますので、下の句は読みません。注意してください。 ※但し、当日の参加チーム数により、表彰及び試合方法を変更する場合があります。
申 し 込 み	<u>令和7年12月8日（月）～12月12日（金）まで</u> 事務局(地域教育課)へ大会参加申込書にてお申し込みください。 <u>FAX可(ただし、送信後必ず到着確認の電話をしてください。)</u> <u>※小学生チームの審判登録者は申し込めません。</u>
組合せ抽選	<u>大会当日（12：15頃）、大会会場の本部席で実施する。</u>

表彰 各1位～3位とする。

共通項目

問い合わせ・持物・注意事項は、『小学生の部』要領(省略)と同じですので、参考にいただき、持ち物を忘れず、注意事項を厳守してください。

競技について

競技の方法

- 1、団体戦（源平合戦）とする。
- 2、チームの編成・・・1チーム3名、うち主将1名。
（補欠1名は認めるが同一試合内の交代はできない）
- 3、使用札・・・・・・・・各チーム50枚ずつの持ち札とし、合計100枚とする。
（一人あたり10枚程度）
- 4、ルール
 - 1）2チームが向かい合わせに座る。
 - 2）読み手によって読まれた札を取り合う。
 - 3）相手側の札を取ったときは、自分側の札を相手側にそのつど1枚ずつ送る。
（自分側は1枚減る）
 - 4）自分側の札を取ったとき、自分側は1枚減ることになる。
 - 5）読まれた札と違う他の札に触れたときは、「お手つき」といって相手側から札を1枚もらう。（相手側が1枚減って自分側は1枚増える）
 - 6）勝敗の決定は、持ち札50枚が早く無くなった方の勝ちとする。

競技におけるマナーと注意点

- 1、座席・・・・・・・・「座席及び札の配列図」参照。
- 2、あいさつ・・・・・・・・審判員の競技開始の合図により「おねがいします。」競技終了の合図で「ありがとうございました。」のあいさつを相手選手、審判員、読み手にする。
- 3、持ち札の配列・・・・・・・・「座席及び札の配列図」参照。
 - 1）審判員より両チームに50枚ずつの持ち札が渡される。
 - 2）選手一人あたり10枚ずつ（得意な札を選んでもよい）を、自分の膝の前方2段に自分側に向かってきちんと並べる。
 - 3）持ち札の配列をする時間は、2分間とする。

4、札の暗唱・・・持ち札の配列を終えたあと、3分間（相手の札も暗記する）とする。（札の移動はできない。）

5、競技時の姿勢・・・畳の上に正座をし、きき手を膝の上に置き、片方の手は畳につく。（頭の位置は札の下段まで）

6、札の取り方

- 1) 上の句の1字目が読まれるまでは、手を出してはならない。
- 2) 読まれた札に早く指で触れたとき、または手のひらで押さえたときは、その札を取ったものとする。
- 3) 必ずきき手で取らなければならない。きき手でない方の手で取ったときは無効となり、相手側に取りられたことになる。
- 4) 読まれた札に相手チームと同時に手が触れたときは、札を所有している側の取りとする。
- 5) 取った札を審判員の方に向け、確認を得る。
- 6) 取った札は、自分の膝の前に横向きにし、裏返しておく。

7、札を取ったときの札のやり取り

- 1) 相手側の札を取ったときは、1枚相手側に送るが、誰がどの札を送ってもよい。
- 2) 一度送った札は、他の札と変えることはできない。
- 3) 札を受け取った人は、自分側のどの位置に置いてもよい。
（上段・下段・他の人の前・自分の前）

8、持ち札の整理・・・札の位置を変えない限り、札の整理は随時してもよいが、読みが始まるまでに終えること。

9、持ち札の移動

- 1) 持ち札を自分側の間で動かすときは、主将が「タイム」を審判員に求め、「持ち札を動かします。」と告げ、素早く札を動かし、終われば「ノータイム。」と告げる。
- 2) 持ち札の移動ができるのは、タイムを求めたチームだけで、相手チームは持ち札を動かせない。
- 3) 札の移動は1回につき5枚以内とする。
- 4) タイムは、予選はなしとする。決勝トーナメントの51枚から1回、100枚は、2回とする。

10、お手つきと札のやりとり

- 1) 「お手つき」とは、読まれた札とまちがって他の札に触れたことをいう。
- 2) 一人の人が同時に2枚の札に触れたり、二人の人が同時にお手つきをしたときは、お手つきを2回したことになる。
- 3) 同じ人が連続して、お手つきをしたとき（1回の読みで）は、その回数だけお手つきをしたことになる。
- 4) お手つきをしてから読まれた札を取ったときは、お手つきと取りのふたつの動作があったことになる。
- 5) 読まれた札を取ったときに、その勢いで他の札に手が触れた場合、お手つきかどうかの判断は審判がする。
- 6) お手つきを1回するたびに、そのつど相手側から札を1枚ずつもらう。
- 7) 両チームともお手つきがあったときは、「両お手つき」となり、札のやりとりは無しとする。ただし、お手つきの回数に差があるときは、その差の分だけ札のやりとりをする。

11、競技中の選手の心得

- 1) 競技中の選手は、タイム以外に読み手を待たすことはできない。
- 2) 競技中の選手は、読まれた札やきまり字、読み札等について味方の人や他の人と話をしたり、審判員に聞いたりすることはできない。
- 3) 読みが始まったら、選手は精神の統一をして、読み手の読む上の句をよく聞く。
- 4) 審判員の判定には、必ず従う。

12、試合の終了

- 1) 一方のチームの持ち札が無くなったとき、試合は終了する。
- 2) 両チームとも、取った札を全部集め審判員に渡す。

13、定めに無いことが発生したときは、審判長の判断により決定する。

注意事項

- ・ 審判員は、競技の進行についてすべての権限を持つ。従って、マナー等について選手や見学者に注意をすることができる。
- ・ 見学者は、静かに見学し、選手に話しかけてはならない。
- ・ 試合終了時、拍手程度はよいが、他の試合の迷惑にならないように気をつける。
- ・ 幼児の入場は、試合進行の妨げになるので禁止する。
- ・ 同一チームの選手同志は、かけ声をかけることができる。

プログラム(予定)

8 : 4 5	大会役員集合
9 : 2 0	受 付
9 : 2 5	審判員集合（大会役員控室）
9 : 5 0	選手集合（予選 1 回戦のコート）
1 0 : 0 0	開会式
	次 第
1.	開会のことば 池田市こども会育成連絡協議会副会長
2.	あいさつ 池田市こども会育成連絡協議会会長
	池田市長
	池田市教育委員会教育長
3.	競技上の注意 大会審判長(全日本かるた協会顧問)
1 0 : 2 0	試合開始（小学生の部 予選）
1 1 : 5 0	昼食・ <u>小学生の部 決勝トーナメント抽選</u>
	決勝トーナメント審判発表
1 2 : 0 0	中学生・一般集合（受付）
1 2 : 1 5	<u>中学生・一般の部 抽選</u>
1 2 : 3 0	決勝トーナメント審判員集合（本部席前）
1 2 : 4 0	決勝トーナメント（小学生・中学生・一般の部） 1 回戦 開始
1 5 : 3 0	閉会式
	次 第
1.	成績発表 池田市こども会育成連絡協議会副会長
2.	表彰 ” 会長
3.	大会講評 大会審判長(全日本かるた協会)
4.	閉会のことば 池田市こども会育成連絡協議会副会長